



名古屋市の上下水道事業に関わる人に聞いてきました！ ～下水道の維持・管理部門で働く職員へのインタビュー～



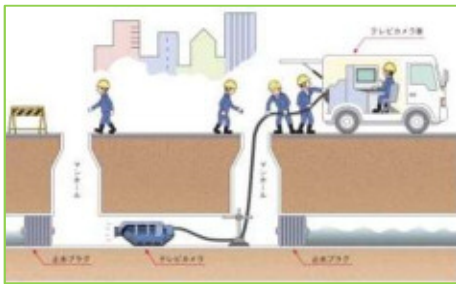
■ 管路センター（下水道担当）の主な仕事内容や役割を教えてください。

管路センターでは、汚れた水を水処理センターまで運ぶ下水管の清掃や古くなった下水管の入れ替え工事などの維持・管理を行っています。また、下水管の詰まりや道路陥没など、下水管の異常が報告された場合に、いつでもすぐに現場に直行して対応できるような体制を取っています。

■ 下水管の清掃について詳しく教えてください。

下水管の詰まりや悪臭の発生を防ぐため、清掃を行っています。土砂がたまって管内を塞いでいたり、油が固まるなどして悪臭を発生させていたりする管がないか、イラストのようにテレビカメラを使って調査します。そういった管があれば、高圧洗浄車で水圧を使って管内の土砂を清掃し、たまった土砂を吸引車で回収しています。

テレビモニター調査



管内清掃



清掃の様子



■ この仕事をしていてよかったと思うのはどんな時ですか？

“下水道”と聞くとどうしても汚いイメージがあり、地中であって見かけることもないため、普段注目される機会は少ないものかもしれませんが、しかし、下水道は私たちが生活する街や自然環境を良好に保つ、浸水被害から守るといった大切な役割を持つ設備です。下水管の調査や工事では直接管内に入る場合もあります。地下数十メートルというとても深い場所に入ることもあり、暗く狭い空間の中は非常に動きづらく、危険に感じたりすることも多くあります。それでも、お客さまから感謝の言葉を頂いたときには、この業務に携わっていることに誇らしさを感じます。

■ 市民のみなさまに知っていただきたいことは？

名古屋市では避難所のトイレ不足を補うため、災害時に地域のみなさま自ら仮設トイレを設置することのできる、「震災用マンホール」を避難所周辺に設置しています。このマンホール蓋には「震災用」と書かれています。仮設トイレを組み立てると写真のような形になります。通りがかったときなどに、ぜひマンホール蓋を確認してみてください。

